

## 令和6年度安全標語

〔 会長賞 〕

ゼ 全員で      ロ 労働環境整えて  
      サ 最善の      イ 命を守る      ガイ      ゴ ガイドライン

作者 関 孝貞 氏 (株大東)

## いろいろな情報

### ○「一般社団法人札幌中小建設業協会安全大会」(通常開催)

令和6年度安全大会を、4月26日(金)午後2時30分から、経済センターにおいて開催しました。今年度大会は、会員社より100名が参加、来賓として札幌市より荻田建設局長にお越し頂いての開催となりました。

一昨年までは新型コロナウイルス感染拡大防止の為、小規模～中規模開催として実施し、4年振りに通常規模での開催となった昨年につき、お陰様で、今年も通常開催として実施することができました。関係の皆様にご心から御礼申し上げます。荻田局長からは中建協会員企業の皆様方へ熱い激励のお言葉を頂戴しました。

また、安全大会に併せて実施しております安全講習会につきまして、内容は、本号にてお知らせいたしますので、ご覧ください。

令和6年度は、札幌市建設局石川工事課長、都市局の片岡建築工事担当課長、水道局からは上野中部配水管理課長による「安全講話」となります。

“安全大会”



## 令和6年度安全大会次第

1. 開会のことば(司会者) 安全委員 大塚 英夫
2. 会長挨拶 (一社)札幌中小建設業協会会長 大井 貞雄
3. 標語入選者の表彰  
選考経過 安全委員 鈴木 光良  
表彰 (一社)札幌中小建設業協会会長 大井 貞雄
4. 優秀技術者の表彰  
選考経過 安全委員 安田 元喜  
表彰 (一社)札幌中小建設業協会会長 大井 貞雄  
受賞者謝辞 光建工業(株) 清 俊樹 様
5. 安全講話  
札幌市建設局土木部工事課長 石川 英俊 様  
札幌市都市局建築部建築工事担当課長 片岡 みなこ 様  
札幌市水道局給水部北部配水管理課長 上野 信人 様
6. 安全宣言 (株)大東 関 孝貞 様

“荻田局長に安全宣言を  
読み上げる関さん”



7. 激励の言葉 札幌市建設局長 荻田 葉一 様
8. 閉会にあたって (一社)札幌中小建設業協会副会長 千葉 建次
9. 閉会

## 令和6年度安全講話

市より情報提供を受けましたので、4月26日に安全大会に合わせて開催された「安全講習会」を本誌上においても実施させていただきます。

建設局土木部関係 ～ 講師 土木部工事課長 石川 英俊 氏

札幌中小建設業協会の皆さまには、日頃から本市の道路、河川事業をはじめ、冬期間の道路除排雪や災害復旧など、市民生活を支える都市インフラの整備、維持管理等に、多大なるご協力を賜っており、誠にありがとうございます。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、この度は安全大会の開催にあたり、安全講話という形で、お話しする機会をいただきました。大きく2点、令和5年度の事故発生状況と今年度の事故防止に向けた取り組みについて、お話しいたします。

### (1) 令和5年度の事故発生状況

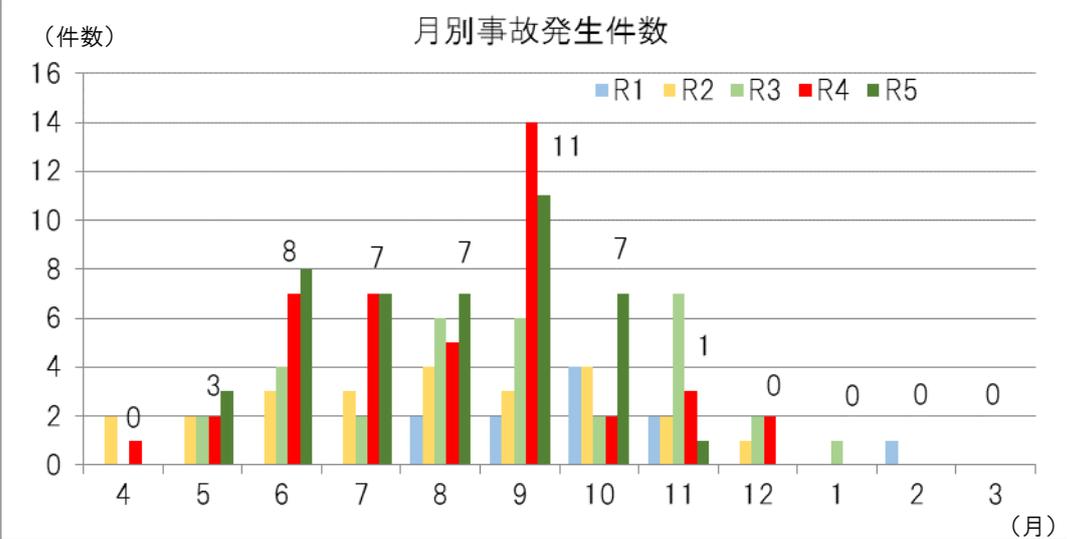
まず、大きな1点目、令和5年度の事故発生状況についてです。

昨年度の建設局及び各区土木部所管の工事における事故発生件数は44件で、過去10年間で最多であります。過去5年間で最も少なかった令和元年度の11件以降、残念ながら5年続けて増加しております。

過去5年間の事故発生件数

年度	R1	R2	R3	R4	R5
事故件数	11件	24件	32件	43件	44件

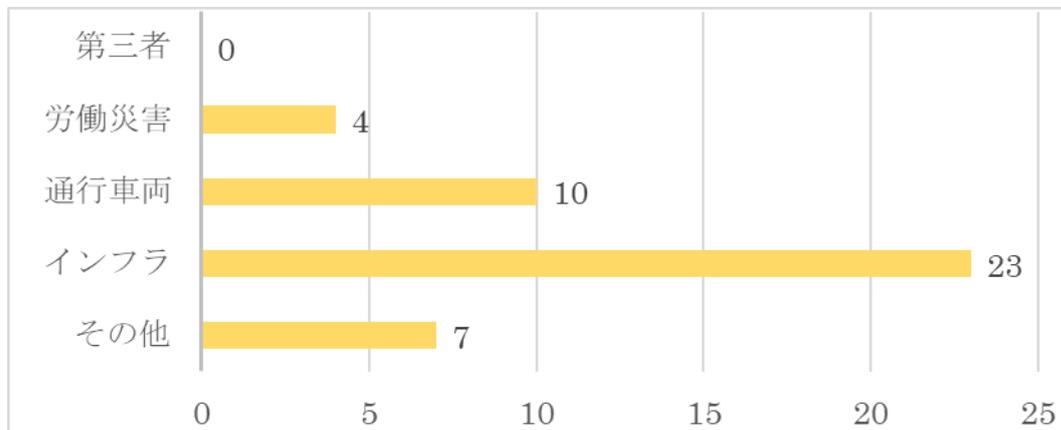
また、事故の発生時期としましては、例年、現場が最盛期に入る6月以降増加し、11月まで続く傾向が見られます。昨年度においても同様に、6月から9月に全体の約9割が集中するという状況でした。また、事故44件の内訳は、人身4件、物損40件でした。



次に、昨年度発生した事故を例に、未然防止に向けた取り組みなど3点お話しいたします。

まず、1点目、労働災害となってしまった事故です。現場での作業開始前、現場事務所敷地内における準備作業として、単管バリケードを4t ダンプに積み込む作業を2名で行っていたところ、被災者の左側にいた作業員が積み込み中にバランスを崩し、単管バリケードを右側に転倒させてしまい、被災者の左手が4t ダンプの後方アオリの上に掛けてあったため、倒れてきた単管バリケードとアオリの間に指がはさまれ負傷したという事例です。

ダンプのアオリを降ろさずに作業したこと、作業員同士のコミュニケーション不足、連帯作業という意識が欠如していた事故ですが、準備作業であっても声かけを行いながら作業を行い、作業員ひとりひとりが安全への意識を高くもつことが必要と考えます。



次に2点目、インフラの物損事故についてです。昨年度は23件発生しております。事故概要を確認しますと、地下埋設物において図面と異なる位置に埋設されていたなど、事故を未然に防ぐことが難しい事例もありますが、その一方で、上空の架空線など、目視可能であるにも関わらず、バックホウの旋回時など、ちょっとした不注意や見落としで損傷させてしまう事故も数件発生しました。インフラの損傷事故は、ひとたび発生してしまうと、大きな公衆災害に発展する可能性もありますので、改めてご注意いただきたいと思います。

最後に3点目、通行車両の物損事故についてです。歩道部施工のため、片側2車線のうち1車線を規制していた際、規制区域外から区域内に進入しようとしたバックホウが中央線側の車道で停車中の一般車の左ミラー及び車体側面と接触してしまったという事例です。バックホウの運転手が走行しながら路肩の規制材や施工箇所状況確認をしていたため、周囲への注意が不足したこと、また狭い箇所を無理に通ろうとしたため起きた事故になります。

周囲状況等で気になる点や確認する点がある場合には、一時停止することを徹底するなど、安全に対して、細かな点の徹底にもご注意いただきたいと思います。

以上、昨年度の事故事例についてお話ししましたが、はじめに触れたとおり、事故件数の増加が続いております。改めて各現場において、日々の安全ミーティングやK Y活動などを通じて、安

全意識を高めていただくなど、今一度、事故撲滅に向けて協会の皆さまのお力をお借りしたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

## **(2) 令和6年度の事故防止に向けた取組**

次に大きな2点目、今年度の事故防止に向けた取組みに関するお願いです。

### **(以下、中略)**

最後になりますが、安全を確保し、事故を防止することは、工事の大前提となります。そのためには、私ども発注者と札幌中小建設業協会の皆様とが一体となった取組みが重要と考えております。

私ども、工事を発注する側といたしましては、今後も関係機関との連携を密にするとともに、職員に対しても、あらゆる機会を通じて、工事の安全に対する意識の啓発を図ってまいりたいと考えております。

会員の皆さまにおかれましても、引き続き安全対策に積極的に取り組んでいただき、無事故・無災害を達成できることを祈念いたしまして、私のお話を終わりたいと思います。

都市市局建築部関係 ～ 講師 建築部建築工事担当課長 片岡みなこ 氏

札幌市都市局建築部工事担当課長の片岡でございます。

本日は、札幌中小建設業協会の安全大会にお招きいただき、誠にありがとうございます。札幌中小建設業協会の皆様方には、日頃より本市の公共事業や建築行政に対しまして、多大なるご理解ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

この度は、皆様の安全大会の趣旨を踏まえまして、私ども建築部で設置しております工事安全管理委員会の取組と、令和5年度発注工事における事故発生状況等についてお話しさせていただきます。

## **1 建築部工事安全管理委員会の取組**

建築部の工事安全管理委員会設置の経緯につきましては、今から27年前の平成9年に、当部の発注した工事において近隣住民の方がお亡くなりになるという大事故が発生いたしました。これを契機に建築部に当委員会を発足させ、二度とそのような痛ましい事故を起こさないよう、現場災害の未然防止に向けた様々な取組を行うとともに、事故が起こってしまった際の迅速な事後対応を定めております。

事故の未然防止のための主な活動といたしましては、

- ① 工事安全パトロールの実施
- ② 工事安全管理ニュースの発行
- ③ 工事安全管理重点目標の設定

という3つの活動を行っております。

### **1 - 1 工事安全パトロールについて**

建築部発注工事の安全パトロールは例年数回実施しており、毎年10月を「事故防止強調月間」と位置づけ、安全管理強化事業の1つとして、札幌中央労働基準監督署にもご同行をお願いし、専門的な見地から意見を伺うなど、パトロールの強化を図っているところです。

特に、外部足場については、手すり・中棧・幅木・作業床の設置状況、緊結・接続状況など、墜落・転落防止措置に重点を置いて点検するとともに、足場に物を放置していないか、現場内が整理整頓されているかなどを確認しております。

令和5年度は、安全パトロールを4回実施しており、今年度も同程度実施する予定でございます。

今後も工事の安全に関する意識を高めいただくことに重点をおいて実施してまいりますので、対象となられた現場の皆様には、書類の整理なども含めて大変御苦勞をおかけしますが、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### **1 - 2 工事安全管理ニュースについて**

工事安全管理ニュースは、工事安全管理委員会の事務局で作成し、本市発注工事を受注していただいている建設会社やその工事現場事務所、設計事務所などの皆様から登録いただいたメールアドレスに定期的に配信しております。

主な記事として、安全パトロールの結果報告、事故の発生状況、季節特有の災害事例とその防止対策など、工事の安全管理に関する様々な情報を発信しております。また、台風や風水害等の気象警報が発令された際などには、状況に応じて注意喚起の号外も発信しております。

安全管理ニュースのメール配信を希望される方は、事務局であります当部建築保全課までご連絡をお願いいたします。

### **1 - 3 「工事安全管理重点目標」について**

工事安全管理委員会において、建築部発注工事における安全管理の「重点目標」を設定しております。

ここ数年は、重大な事故の多くが墜落・転落災害であることから、

重点目標の1番目を、「危険予知活動の徹底」

2番目を、「墜落・転落災害の防止」としており、工事現場の安全管理に努めております。

## 2 建築部発注工事における事故の発生状況

当部発注工事における事故につきましては、令和5年度は4件の事故が発生しております。そのうち人身事故が3件、物損事故が1件となっており、人身事故は墜落・転落によるものが2件、転倒によるものが1件です。物損事故は給水管を破損したものです。

(以下、中略)

## 4 おわりに

昨今の公共事業を取り巻く環境ですが、労働者不足や道内民間事業による大規模開発の影響などもあり、令和5年度は例年に比べ入札不調となる案件が多く発生いたしました。

今年度もすぐに改善する見込みとはなっておらず、大変厳しい状況が続いております。

一方で、本市では公共建築物の老朽化が進んでおり、これらの建て替えや改修など、これからも継続的に皆様方のお力添えをいただいて工事を進めていかななくてはなりません。

私ども建築部といたしましても、建設業における担い手の確保や働き方改革の推進に向けて、週休2日を考慮した適正な工期の設定や、早期発注により施工時期の平準化に取り組むとともに、実情に見合った適正な工事積算などに努めてまいります。

引き続き、ご理解とご協力のほどをお願い申し上げます、安全講話とさせていただきます。

水道局給水部関係 ～ 講師 給水部中部配水管理課長 上野 信人 氏

○札幌市水道局中部配水管理課長の上野と申します。

札幌中小建設業協会の皆様には、日頃より本市水道事業に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

○私からは、令和5年度における札幌市水道局の工事安全管理への取り組み状況と事故発生状況、および安全管理上の留意点等についてご報告いたします。

## 【1.工事安全管理への取り組み状況に関すること】

○水道局では、当局が発注する工事における事故や災害を未然に防止するために、平成5年から「工事安全管理委員会」を設置しており、毎年、安全パトロール、啓発活動及び研修会の開催などの取り組みを行っております。

○令和5年度に実施した安全パトロールにおいて、職員から現場に指摘した事項のうち、最も多かったのが『現場内外の整理整頓』に関する事項で指摘件数は20件でした。具体的な内容として、「工事区域の分離が明確になされていない」、「資機材置場が整理されていない」などの指摘がありました。

○2番目に指摘が多かったのが『安全教育』に関してで、指摘件数は12件でした。具体的な内容として、「腕章等による現場代理人、配管工の明示がない」、「労災保険、緊急連絡表が掲示されていない」という現場が見られました。

○3番目に多かったのが『歩行者通路の安全管理』に関する項目で、指摘件数は7件でした。具体的な内容として、「歩行者通路が明確に仕切られていない」、「歩行者通路の幅が確保されていない」という現場が見られました。

○なお、指摘が多かった項目や実際に発生した事故内容から、令和6年度のパトロールにおける重点点検項目として、3項目を掲げております。「セーフティーコーン及びバー等の設置による工事区域の明確化」、「埋設物、架空線等の折損・損傷事故の防止」、「重量物の取扱いにおける安全対策の実施」について、重点的にパトロールすることとしております。

○これらの内容につきましては、監督員が受注業者に安全管理の徹底を促す注意喚起文書と過去の事故事例集を配布するとともに、水道局のホームページにも掲載しております。

## 【2.工事事務発生状況に関すること】

○次に昨年の事故発生状況について、ご説明します。

○令和5年度に発生した事故件数は、労働災害及び公衆災害を合わせて14件ありました。内訳は、人身事故が6件、物損事故が8件となっています。人身事故は過去10年間で最多となりました。

### (以下、中略)

○今年1年間、労働災害と公衆災害の「撲滅」を目指し、工事の円滑実施と事故の防止に努めていただくことをお願いし、私からの報告とさせていただきます。

○今年1年、どうぞよろしくお願いいたします。

## 事務局より

- 工事最盛期に入って参ります。会員の皆様におかれては、日頃から積極的に事故防止に取り組まれておられますが、今一度、一層の徹底に努め、無事故無災害となりますよう祈念いたします。
- 今年度の「現場技術者研修会」は、来る6月6日に開催を予定しております。
  - 一昨年までの無観客開催～リモート研修～各企業1名参加の小規模開催から脱却して、昨年はお陰様で、4年振りに通常開催とすることが出来ました。
  - 今年度も、経済センター8階Aホールにおいて、通常規模での開催を予定しております。
  - 多数の皆様にご参加いただけますようよろしくお願い申し上げます。